

施設内容調書

西暦 年 月 日

施設名

施設（以下 該当項目にチェックすること）

	添付資料	チェック
日本循環器学会認定循環器専門医が3名以上在籍する循環器専門医研修施設である	認定証コピー 施設、医師3名分	
日本心血管インターベンション治療学会専門医もしくは認定医が3名以上在籍する心血管インターベンション治療学会認定研修施設である	認定証コピー 施設、医師3名分	
日本脳卒中学会専門医が1名以上在籍する脳卒中学会認定研修教育施設であり、定期的なBrain-Heart Teamによる協議が行われていること。脳卒中の診療科を有さない循環器専門施設の場合は、近隣の脳卒中学会認定研修教育施設と文書による診療連携を確立し、定期的なBrain-Heart Teamによる協議が行われていること。	認定証コピー 施設、医師1名分 (診療連携を示す文書(別紙2))	
心臓血管外科専門医が1名以上在籍する心臓血管外科専門医認定修練施設である	認定証コピー 施設、医師1名分	
日本超音波医学会認定超音波専門医、日本周術期経食道心エコー(JB-POT)認定試験合格者、ないし日本心エコー図学会が認証している「SHD心エコー図認証医」が1名以上在籍している	認定証コピー 医師1名分	
緊急開心術が実施可能である	なし	
医療安全研修が行われている。	研修案内等研修の実施がわかる 書面のコピー	
経皮的心房中隔欠損閉鎖術認定術者が在籍する	認定証と、症例一覧(別紙3)	

手術実績・検査

*トレーニング申し込み前月までの指定年数で記入のこと。2024年4月にトレーニング申請書提出の場合は、2023年4月から2024年3月までを年度ととらえる。

左房内にアクセスする手技治療(経中隔アプローチ)の実施施設であり、常勤の認定術者が実施していること(ただし、症例数は問わない)。※経中隔アプローチの定義参照	
先天性心疾患あるいは構造的な心疾患に対しての経食道心エコー図検査数(年間100例以上)	例
Brain-Heart Teamによる潜因性脳梗塞に対する卵円孔開存診断を目的としたバブルスタディー(経胸壁心臓超音波、経食道心臓超音波、経頭蓋超音波)を年間25例以上実施していること。	例
日本心血管インターベンション治療学会が実施する「経皮的卵円孔開存閉鎖術研修プログラムPhase 4」を受講し、本手技の目的と内容を習熟した担当医が2名以上在籍すること。	

※経中隔アプローチの定義

経皮的僧帽弁クリップ(MitraClip)、経カテーテル的左心耳閉鎖(LAAO)、経皮的心房中隔欠損閉鎖術、心房細動アブレーション、経皮的僧帽弁交連裂開術(PTMC)

設備機器(以下該当項目にチェックすること)

全身麻酔ができ経食道心エコー図もしくは心腔内心エコー図が実施可能なカテーテル室を有する	
---	--

以下より希望する研修日の日程をチェックしてください。

2024年6月16日(日) 申し込み締め切り2024年4月末日